



2026年1月11日(日)
1月第二主日礼拝式

「さあ賛美しよう」

(詩篇18:46)

さあ賛美しよう 救い主イエスに

さあ賛美しよう 救い主イエスに

ホザナ たたえよう

賛美しよう 救いの岩

ホザナ たたえよう

賛美しよう 救いの岩に

69 鹿のように

谷川のながれを慕う

鹿のように

主よわがたましいあなたを慕う

あなたこそわがたて

あなたこそわが力

あなたこそわが望み

われは主をあおぐ

新聖歌248番 「 人生の海の嵐に 」

- 1 人生の海の嵐に もまれ来(き)しこの身も
不思議なる神の手により いのちびろいしぬ
* いと静けき港に着き われは今 安(やす)ろう
救い主イエスの手にある 身はいとも安し
- 2 悲しみと罪の中より 救われしこの身に
いざないの声もたましい ゆすぶること得(え)じ
* (くりかえし)
- 3 すさまじき罪の嵐の もてあそぶまにまに
死を待つはたれぞ直ちに 逃げ込め港に
* (くりかえし) アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌324番 「主と主のことばに」

1 主と 主のことばに たよるは樂(たの)し

主は わが願いを 聞き入れたもう

* ひたすらただ主に たよるわが身を
主よ 主よ なおなお 恵ませたまえ

2 きよくなしたもう 血潮(ちしお)尊(とうと)し

今 信じくぐらば きよめらるべし * (くりかえし)

3 地につく宝を 捨(す)つるは易(やす)し

命の小道(こみち)を たどる身なれば * (くりかえし)

4 ただ主にたよりて 暮らすは樂(たの)し

かなたの国まで みちびきたまわん * (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン